

渋川市農林業振興計画

令和2年度～令和6年度

【概要版】



令和元年12月
群馬県渋川市

策定の趣旨

渋川市の農林業振興に向け、将来の目指すべき姿とそれを実現するため、「第2次渋川市総合計画（平成30年3月）」に掲げる基本方針と「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（平成28年12月）」に基づく政策を総合的かつ計画的に推進するために「渋川市農林業振興計画」を策定します。

計画の位置づけ

本計画は、市の農林業施策の基本的な方向を示すものです。国、県、農業協同組合等の計画や、上位計画である第2次渋川市総合計画との整合を図りながら、本市の農林業振興を推進するための基本計画です。

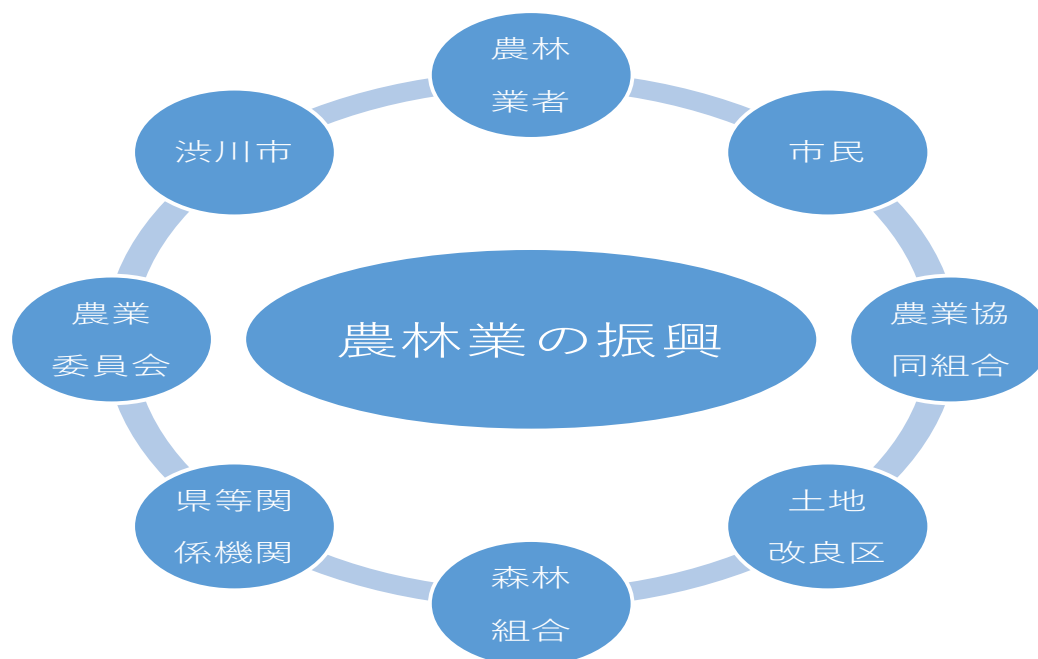
計画の期間

本計画は、令和2年度から令和6年度までの5年間とし、農林業・農山村をめぐる情勢の変化に応じて見直しを行います。

計画の推進体制

渋川市農林業振興計画は、農林業者、市民、農業協同組合、土地改良区、森林組合、県等関係機関、農業委員会、渋川市が連携して、計画の実現に取り組みます。

【計画推進に向けた連携イメージ図】



目指す姿

渋川市においては、国内の大多数の地域と同様に農林業者の高齢化等といった課題が顕在化しつつ、大きな転換期を迎えています。

一方、多様な自然状況のもと、様々な農林業生産が営まれ、経営の規模拡大が進んでいます。

また、交通の便をいかした首都圏住民との交流がしやすい地域です。このような課題と特徴を踏まえ、農林産物の生産拡大・消費拡大を図るとともに、他産業と連携した活力あふれるまちの実現を目指します。

農林業の課題

渋川市における農林業の現状を踏まえ、将来像実現に向けて、4つの課題を整理しました。

農林業の担い手の育成と農林産物の生産振興・販売力の強化

- 今後の農林業従事者の減少を補うため、新規就農者・定年帰農者・女性農業者など多種多様な担い手の確保と育成が必要であり、耕作放棄地の増加と有害鳥獣被害は、経済的損失のみならず営農・林業経営意欲の減退の一因でもあることから、対策を強化するとともに土地利用型農業を推進する必要があります。

地域農業の維持と農村機能の保全と発揮

- 土地改良事業を実施したことで、農業生産性が向上し、担い手への農地利用集積が進み農業生産量が増加しました。また、農道の舗装、農業用排水施設等の維持・補修を行ったことで、農業生産性の維持と向上が図られるため引き続き、実施することが必要です。

農林産物の安全確保と食と農の理解促進

- 農林業者や消費者は、ともに、食への安全意識の高まりや地産地消に対する意識についても高いと考えられ、学校給食や直売所等において地域への理解を深め、渋川市独自の農林産物ブランド力の強化に努める必要があります。

森林の保全、利活用と林業生産条件の整備

- 森林機能の維持や森林整備による資源の有効活用が求められており、地域森林整備計画に基づく自然環境の保全と利活用により、計画的な森林整備や森林病虫害防除、林道・作業道整備の充実を図る必要があります。

2つの基本目標と4つの基本施策

基本目標

将来像の実現に向けて、渋川市農林業振興計画の計画期間内（令和6年度まで）に目指す姿を「基本目標」として位置づけ、これに基づき施策展開を図ります。

基本目標1

農林業の担い手の育成・確保に取り組むとともに、農村環境の整備を推進します。

基本目標2

安全・安心な農林産物の提供とブランド力の強化を図ります。

基本施策

2つの基本目標実現のため、4つの基本施策を設定し、施策を展開します。

基本施策（1）農業の担い手の育成と農林産物生産振興

- 多種多様な農業就業者を育成・確保するとともに、認定農業者や農事組合法人等への施設及び機械整備の支援により農業所得の向上を目指します。また、農林業経営に悪影響を及ぼしている鳥獣被害の防止を図ります。

基本施策（2）地域農業の維持と生産基盤の保全・整備

- 地域農業の維持と生産基盤を整備するため、土地改良施設の機能保持と長寿命化、交通に支障のある未舗装農道や老朽化した農業用水路整備を実施します。また、農地利用集積・集約化の促進や農作業の効率化と耕作放棄地の解消を図るため、地域の共同活動による農用地、農業用水路、農道などの保全管理を推進します。

基本施策（3）農林産物の安全確保と販売力の強化

- 消費者ニーズを把握した地産地消を推進するため、農薬等の適正使用と生産工程管理に取り組むとともに、農産物のブランド力の強化と販売流通機会の拡大を図ります。

基本施策（4）森林の保全、利活用と林業生産の条件の整備

- 森林病虫害防除対策や林道・作業道等の整備の充実と森林施業の効率化による林業後継者の育成・確保を図るため、森林自然環境の保全と利活用を推進します。

個別施策

4つの基本施策に、それぞれ個別施策を設定し、基本施策に資するものとします。

基本施策（1）農業の担い手の育成と農林産物生産振興

【個別施策】

① 多種多様な農業者の育成・確保

- ・ 認定農業者・認定新規就農者の育成
- ・ U I J ターン農業者・定年帰農者の確保
- ・ 法人化と法人化による雇用就農の促進
- ・ 女性農業者の育成
- ・ 農福連携等による新たな雇用の確保



タマネギ（渋川地区）

② 農業用施設及び機械の整備支援による生産性と農業所得向上

- ・ 地域農林産物の生産支援
- ・ 補助制度や農業制度資金の活用促進
- ・ 事業主体に応じた支援策の検討
- ・ 農業生産費を意識した経営の取組
- ・ スマート農業への取組支援



リンゴ（渋川地区）

③ 地域農林産物の生産推進

- ・ 地域の特性をいかした農林産物の生産維持
- ・ 地域の特産品の生産支援
- ・ 地場農林産物の安定的な供給体制の整備
- ・ 消費者ニーズの高い農林産物の生産

④ 有害鳥獣被害の防止と捕獲鳥獣の活用

- ・ 侵入防止柵等の被害防止施設の設置
- ・ 有害鳥獣捕獲隊・実施隊による被害防止活動及び捕獲活動
- ・ 狩猟者の人材確保
- ・ 地域資源とした捕獲鳥獣の活用



ブルーベリー
（子持地区）

侵入防止柵
（金網柵）



基本施策（２）地域農業の維持と生産基盤の保全・整備

【個別施策】

- ① 土地改良施設の機能保持と生産基盤の整備
 - ・ 土地改良施設の機能保持と長寿命化
 - ・ 農業生産を支える生産基盤の整備
- ② ため池の維持と防災・減災対策の推進
 - ・ 施設の維持・補強
 - ・ 緊急時に備えるための避難情報の周知
- ③ 地域の共同活動による農村環境の保全
 - ・ 農村環境保全活動の推進
- ④ 農地利用の最適化の推進
 - ・ 担い手への農地利用の集積・集約化
 - ・ 耕作放棄地の発生防止・解消
 - ・ 新規参入の支援活動



パプリカ（赤城地区） ホウレンソウ（北橘地区）



中山間地域等直接支払交付金を活用した水田（棚田）
（小野上地区）

基本施策（３）農林産物の安全確保と販売力の強化

【個別施策】

- ① 農薬等の適正使用と生産工程管理への取組
 - ・ 安全・安心で環境にやさしい農業の推進
 - ・ 農薬の適正使用の啓発
 - ・ 農林産物の生産工程管理
- ② 農林産物の渋川ブランド力の強化
 - ・ ブランド化の推進
 - ・ 渋川農業のPR
 - ・ 直売機能の拡充
 - ・ インターネットを利用した有利販売
- ③ 販売流通機会の拡大
 - ・ 学校給食の地場産食材の利用拡大
 - ・ 飲食店や旅館等での地元産の積極的利用
 - ・ 市内産ロゴマークの表示
 - ・ 農林産物輸出の取組支援
- ④ 地域資源の積極的活用
 - ・ 観光農園の取組支援
 - ・ 都市農村交流の推進
 - ・ 収穫体験の充実
 - ・ 食農教育への取組



伊香保温泉石段朝市
（伊香保地区）



タマネギの収穫体験（渋川地区）

基本施策（４）森林の保全、利活用と林業生産の条件の整備

【個別施策】

- ① 林業者及び林業就業者の育成・確保
- ・ 林業就業者の福利厚生充実
 - ・ 林業就業者の就労の長期化、安定化の推進
 - ・ 林業者及び林業就業者の収入の確保
 - ・ 林業の魅力の発信
 - ・ 高性能林業機械の導入支援

- ② 森林病虫害対策と有害鳥獣対策の推進
- ・ 森林病虫害等の駆除及び予防
 - ・ 野生獣類による林業被害の拡大防止

- ③ 森林環境の整備と利活用
- ・ 間伐等の森林整備の推進
 - ・ 間伐材の利用促進（木質バイオマス等）
 - ・ 森林経営の集約化
 - ・ 林業専用道、作業道等の路網整備
 - ・ 公共建築物等への木材の利用促進

- ④ 森林を支える仕組みづくり構築
- ・ 森林に関する普及啓発活動
 - ・ 森林へのアクセスを容易にする環境づくり
 - ・ 地域住民、NPO等による里山林整備の支援
 - ・ 森林ボランティア活動による植樹祭等のイベント開催
 - ・ 竹林整備の推進



高性能林業機械：フォワーダ

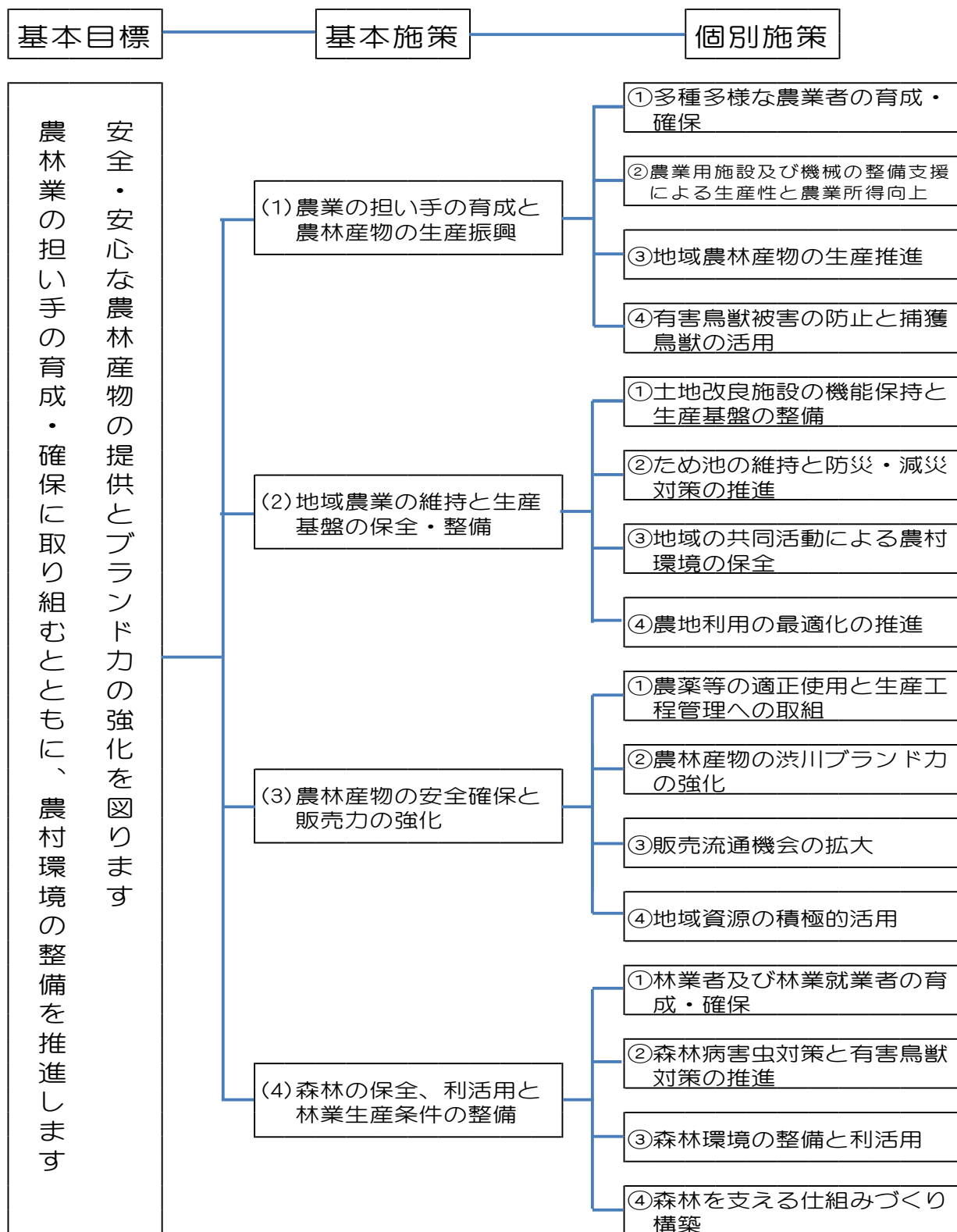


高性能林業機械：プロセッサ



林業作業風景

計画体系図



渋川市農林業振興計画【概要版】 発行：渋川市
 編集：産業観光部農林課
 所在地：〒377-8501 群馬県渋川市石原80番地
 発行年月：令和元年12月 電話：0279-22-2111（代表）